

カンボジア人は本当にパワフルだぜ。エネルギーというか何か日本人が失ったものを持っているというか、、本日久々に現場に出してみました。

まずカンボジアの子供達、本当に元気です！

日本人が珍しいのか、私が行くと近所の子供たちまで集まってきてカメラをかざすとみんなポーズらしきものをとってくれる。みんな常に笑っており元気よく遊んでました。

家は日本では考えられないようなところに住んでますが、近所や周辺のつながりが強く誰がどこの家の子とかは全く関係なくみんなが兄弟、姉妹のようでした。



今日はこの家のお母さんサムさんに融資。

サムさんは食品の移動販売をしている5人の子供を抱えるシングルマザー。ライスマとは2年のお付き合い、融資自体は3回目。

さてこのサムさん2年前、旦那さんが交通事故でなくなり、それからライスマの融資を元手に食品の移動販売を始め5人の子供を女手1つで育て、サムさんの頑張りや子供たちの手伝いもありこのたびライスマから1000ドルの融資を受け店舗をかまえることになりました。

サムさんに少しお話を聞きましたがやはり食品の移動販売で業績は上がってるが商売自体を拡張していかないと子供が大きくなるにつれお金がかかっていくので今のままではしんどいということです。

これから一番上の娘さんが移動販売をし、サムさんが店舗でやっていくとのこと。本当にうまくいったほしいものです。

この日はもう一つ印象に残ったのが美容室のピアさん。今日が返済予定日なのですが最近、体調を崩して仕事ができずお金がないとのこと。融資自体は300ドルであと2回返済が残っているだけ。隣の家から借りてくると言ったのですが同行していたチームリーダーの判断で返済を1週間延期するとのこと。

なぜ隣の人に代わりに返してもらわないのかチームリーダーに聞いたところ、やはり借りた金を借りて返すと癖がついてしまう、彼女はライスマとの付き合いも長く、今回はたまたま体調面の問題があっただけ、だから返済を猶予した。

なるほど～日々お客様の家に足を運びお客様のコンディションなども見て、お客様の為になる方向へ導くのもライスマなんだと感じました。



2016年4月6日
 ライス マスター・ノブ

※. 今回は昨年9月からライスマに加わったマスター・ノブのレポートです。見たまま感じたままを書いてもらいましたが、カンボジアの現状やライスマの精神と使命がストレートに伝わってきます。(現地代表：磯部)